

## 令和6年度 第4回広島市感染症対策協議会

【日 時】 令和6年9月17日（火）19:00～20:00

【場 所】 広島市役所 14階第7会議室

【出席者】 小林 正夫、石川 暢久、吉岡 宏治、高橋 宏明、金子 朋子、大橋 信之、  
増田 裕久、梶梅 輝之、長岡 義晴、岡野 里香、阿部 勝彦

### 1 感染症に関する最近の情報

#### (1) 新型コロナウイルスワクチンの定期接種化について

- ・ 65歳以上の高齢者及び60～64歳で心臓・腎臓・呼吸器の機能障害又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害が身体障害者手帳1級相当の障害である者（インフルエンザワクチン接種と同様の対象者）を対象とした定期接種（B類疾病）として実施する。
- ・ 本市の接種期間は、令和6年10月15日～令和7年1月31日（インフルエンザワクチン接種と同様の接種期間）であり、接種回数は1回
- ・ 自己負担額は3,200円（ただし、生活保護世帯又は市民税の所得割非課税世帯に属する者は自己負担を免除）
- ・ 使用ワクチンは、JN.1系統及びその下位系統へのより高い中和抗体を誘導する抗原を含むもので、薬事承認を受けたもの（予定）
- ・ 住所・氏名・年齢が確認できるもの（マイナンバーカード、保険証、運転免許証等）を持って医療機関で接種する。

※接種方法はインフルエンザワクチン接種と同様

（委員意見）

- ・ 今後の接種率や副反応疑い報告について注視する必要がある。

#### (2) 海外におけるエムポックスの流行状況について（資料1 P1～102）

令和6年8月16日、国は、同年8月14日に世界保健機関（WHO）がコンゴ民主共和国及び周辺国におけるエムポックスの急激な感染拡大について「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言したことを受け、各都道府県及び保健所設置市等に対し、事務連絡を発出した。

エムポックスは、エムポックスウイルスによる急性発疹性疾患であり、令和4年の緊急事態宣言時の流行は西アフリカ型のクレードIIbであったが、令和5年秋以降、コンゴ民主共和国において、重篤で感染力が強い可能性があるコンゴ盆地型のクレードIの大規模な流行が発生し、これまで報告のなかった周辺国でも報告されている。さらに令和6年8月15日、スウェーデンにおいてアフリカ大陸以外で初となるクレードIのエムポックス輸入症例が報告されるなど国際的な感染拡大が懸念されている。

また、クレードIIbについては、男性間性交渉での感染が主体と考えられているが、クレードIについては、男女問わず小児や成人で報告されており、男性間性交渉での感染が主体とは考えられていない。

日本国内においては、令和6年8月13日時点で248例の患者が報告されているが、クレードIの流行地であるアフリカ諸国への渡航に関連する症例は探知されていない。

なお、事務連絡において、医療機関が疑い例の症例定義に該当する者を診察した場合や研究用試薬を用いた検査により陽性と判明した場合は、最寄りの保健所に連絡し、確定検査のための検体採取や積極的疫学調査に協力するよう示されている。

（委員意見）

- ・ 若い世代は天然痘ワクチンの接種歴がないと考えられるため、国内におけるクレードIの流行については注意する必要がある。

### (3) 本市におけるマイコプラズマ肺炎の流行状況について（資料1 P 103 ~ 106）

本市におけるマイコプラズマ肺炎の定点医療機関からの患者報告数は、令和6年第26週（6月24日から6月30日）から増加し、第33週（8月12日から8月18日）では定点医療機関当たり5.71に増加するなど、過去10年で最多の報告数となっている。同年第36週（9月2日から9月8日）現在においても、定点医療機関当たり4.17と報告数が多い状況が続いている。

マイコプラズマ肺炎は、「肺炎マイコプラズマ」に感染することによって起こる呼吸器感染症であり、発熱、全身倦怠感、頭痛、咳などの症状を呈する。咳は、熱が下がった後も長期にわたって（3～4週間）続くのが特徴である。感染した人の多くは、気管支炎を呈した後、軽い症状が続くが、一部の人は肺炎など重症化する場合がある。また、中耳炎、心筋炎、髄膜炎などの合併症を併発する症例も報告されている。

主な感染経路は、飛沫感染と接触感染であるため、手洗いの励行、咳エチケット、タオルの共用を避けるなどの感染予防対策を講じることが重要である。

秋から冬に患者が増加する傾向があり、全国的にも患者数が増加していることから、引き続き発生動向に注視する必要がある。

（委員意見）

- ・ 引き続き今後の発生動向に注視する必要がある。

## 2 8月の定点把握対象感染症発生状況《公開》（資料2、3）

※感染症法に定められた感染症のうち、指定された医療機関のみが報告を行う感染症

## 3 全数把握対象感染症の発生状況《公開》

| 区分 | 病名                  | 令和6年8月分   | 令和6年9月分                                 |
|----|---------------------|---|---|
|    |                     | 報告日 8/5～9/1   | 報告日 9/2～9/12 現在                         |
| 2類 | 結核                  | 8人<br>(結核 8人, 潜在性結核 0人)   | 3人<br>(結核 3人, 潜在性結核 0人)                 |
| 3類 | 腸管出血性大腸菌感染症         | 7人(2人(8/8), 1人(8/12), 3人(8/16), 1人(8/19))   |   |
| 4類 | E型肝炎                | 1人(8/14)  |   |
|    | デング熱                | 1人(8/17)  |   |
|    | レジオネラ症              | 1人(8/27)  | 1人(9/10)                                |
| 5類 | カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症  | 1人(8/26)  |   |
|    | 急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。） | 1人(8/28)  |   |
|    | 急性脳炎                | 1人(8/30)  |   |
|    | 梅毒                  | 17人(1人(8/6), 3人(8/7), 1人(8/8), 1人(8/15), 2人(8/16), 1人(8/19), 1人(8/20), 1人(8/21) 1人(8/23) 2人(8/26) 3人(8/28)) | 5人(1人(9/2), 1人(9/4), 2人(9/9), 1人(9/11)) |
|    | 百日咳                 | 4人(1人(8/6), 1人(8/9), 1人(8/20), 1人(8/31))  | 3人(2人(9/4), 1人(9/5))                    |

( ) は届出日

## 4 その他《公開》

次回開催予定日 令和6年11月18日(月) 14階第7会議室

### 【資料】

資料1：最近の感染症情報

資料2：8月の感染症の概要

資料3：定点把握五類感染症（月報対象）の長期的変動

## 1 患者情報

### (1) 概要

定点からの内科・小児科・眼科系疾患の患者報告数は、8月は1,817人で、前月比0.42と大きく減少した。マイコプラズマ肺炎は増加、感染性胃腸炎はほぼ横ばい、インフルエンザ、突発性発しんはやや減少、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は減少、手足口病、ヘルパンギーナは大きく減少した。

### (2) 特記事項

- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、第36週(9月2日～8日)に定点当たり3.00人と減少傾向であるが、高齢者施設や医療機関等から集団発生の報告が続いており、注意が必要である(図1)。手洗い、換気、高齢者施設や医療機関でのマスク着用など、基本的な感染予防対策が重要である。
- マイコプラズマ肺炎は、第30週(7月22日～28日)に、1999年の感染症法施行以降の最多を上回り、第33週(8月12日～18日)には定点当たり5.71人の報告があった(図2)。全国でも多い状況が続いており、注意が必要である。手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策が重要である。

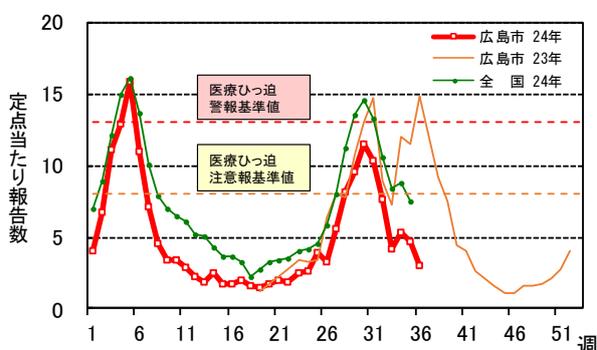


図1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況

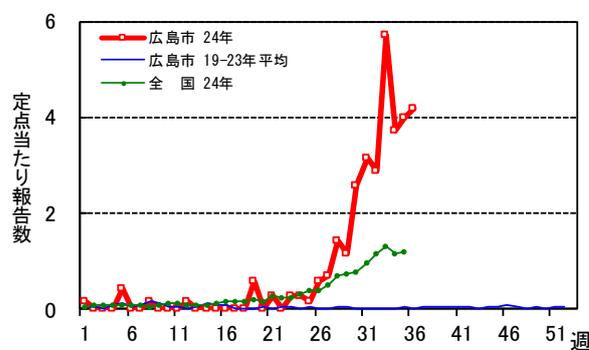


図2 マイコプラズマ肺炎の流行状況

- 手足口病は、定点当たり26.55人とピークになった第28週(7月8日～14日)以降、減少傾向であるが、多い状況が続いており、第36週に定点当たり3.27人の報告があった。手洗いの励行、排泄物の適切な処理などの感染予防対策が重要である。
- 腸管出血性大腸菌感染症は、9月8日時点で21件と、既に昨年の年間報告数16件を上回っており、多い状況である。感染予防には、加熱が必要な食品の十分な加熱、二次汚染の防止、野菜・調理器具の洗浄や手洗いの励行などの対策を徹底することが大切である。
- 梅毒の今年の累計報告数は、9月8日時点で113件(男性83件、女性30件)となり、1999年の感染症法施行以降の調査において、2022年の317件、2023年の272件に次いで3番目に多い。梅毒は、主に性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがあり、妊婦が感染すると流産、死産、先天梅毒を起こす可能性がある。感染予防と早期発見・早期治療が重要である。
- 百日咳は、第32週(8月5日～11日)から第36週の間7件の報告があり、9月8日時点で今年の累計報告数は10件となった。全国でも増加傾向となっており注意が必要である。

### (3) 8月の1類～5類感染症(全数報告)患者発生数

- 1類感染症：なし
- 2類感染症：結核8件(患者:8件、潜在性結核:0件)
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 7件
- 4類感染症：E型肝炎 1件、デング熱 1件、レジオネラ症 1件
- 5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件、急性弛緩性麻痺 1件、梅毒 18件、百日咳 4件

### (4) 今後の流行予測

手足口病、マイコプラズマ肺炎・・・【流行中】  
 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)・・・発生動向に注意が必要である。  
 梅毒、百日咳・・・【増加傾向】発生動向に注意が必要である。

## 2 検査情報

8月の検査結果判明分

| 臨床診断名                     | 検出病原体              | 検体採取年月  | 患者数 |
|---------------------------|--------------------|---------|-----|
| インフルエンザ                   | インフルエンザウイルス A(H3)型 | 2024年7月 | 1人  |
| RSウイルス感染症                 | RSウイルス             | 2024年7月 | 1人  |
| 手足口病                      | *1 コクサッキーウイルス A6 型 | 2024年6月 | 1人  |
|                           | *1 パレコウイルス 1 型     |         |     |
|                           | *2 アデノウイルス 2 型     | 2024年7月 | 1人  |
|                           | *2 コクサッキーウイルス A6 型 |         |     |
|                           | コクサッキーウイルス A16 型   |         | 1人  |
|                           | コクサッキーウイルス A6 型    |         | 1人  |
| ヘルパンギーナ                   | コクサッキーウイルス A6 型    | 2024年6月 | 1人  |
| その他の消化器疾患(腸重積症)           | アデノウイルス 5 型        | 2024年6月 | 1人  |
|                           | アデノウイルス 41 型       |         | 1人  |
| その他の神経系疾患<br>(ギラン・バレー症候群) | RSウイルス             | 2024年6月 | 1人  |

\*1~2: 複数病原体検出例

10人の患者から8種類のウイルス12株が検出された。検出ウイルスの内訳は、コクサッキーウイルス A6 型4株、RSウイルス2株、インフルエンザウイルス A(H3)型、パレコウイルス1型、アデノウイルス2型、コクサッキーウイルス A16 型、アデノウイルス5型、同41型各1株であった。

5類感染症定点情報  
(令和6年8月解析分)

1. 週報対象(第32週～第35週)

| No. | 疾患名                    | 発生記号 | 報告数 | 定点当たり | 今後の予測 | No. | 疾患名            | 発生記号 | 報告数 | 定点当たり | 今後の予測 |
|-----|------------------------|------|-----|-------|-------|-----|----------------|------|-----|-------|-------|
| 1   | インフルエンザ                |      | 19  | 0.55  |       | 11  | ヘルパンギーナ        |      | 26  | 1.27  |       |
| 2   | 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) |      | 717 | 21.86 |       | 12  | 流行性耳下腺炎        |      | 1   | 0.05  |       |
| 3   | RSウイルス感染症              |      | 70  | 3.46  |       | 13  | 急性出血性結膜炎       |      | 1   | 0.13  |       |
| 4   | 咽頭結膜熱                  |      | 15  | 0.72  |       | 14  | 流行性角結膜炎        |      | 9   | 1.13  |       |
| 5   | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎          |      | 93  | 4.64  |       | 15  | 細菌性髄膜炎         |      | -   | -     |       |
| 6   | 感染性胃腸炎                 |      | 202 | 9.77  |       | 16  | 無菌性髄膜炎         |      | -   | -     |       |
| 7   | 水痘                     |      | 4   | 0.21  |       | 17  | マイコプラズマ肺炎      |      | 114 | 16.28 |       |
| 8   | 手足口病                   |      | 508 | 25.29 |       | 18  | クラミジア肺炎        |      | -   | -     |       |
| 9   | 伝染性紅斑                  |      | 1   | 0.05  |       | 19  | 感染性胃腸炎(ロタウイルス) |      | 1   | 0.14  |       |
| 10  | 突発性発しん                 |      | 21  | 1.02  |       |     |                |      |     |       |       |

2. 月報対象(8月)

| No. | 疾患名               | 発生記号 | 報告数 | 定点当たり |
|-----|-------------------|------|-----|-------|
| 1   | 性器クラミジア感染症        |      | 25  | 3.13  |
| 2   | 性器ヘルペスウイルス感染症     |      | 5   | 0.63  |
| 3   | 尖圭コンジローマ          |      | 5   | 0.63  |
| 4   | 淋菌感染症             |      | 3   | 0.38  |
| 5   | メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 |      | 15  | 2.14  |
| 6   | ペニシリン耐性肺炎球菌感染症    |      | -   | -     |
| 7   | 薬剤耐性緑膿菌感染症        |      | -   | -     |

発生記号

|                         |  |  |
|-------------------------|--|--|
| 前月と比較しておおむね1:2以上の増減     |  |  |
| 前月と比較しておおむね1:1.5~2の増減   |  |  |
| 前月と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減 |  |  |
| ほぼ横ばい(発生件数少数のものを含む)     |  |  |

予測記号

|        |  |
|--------|--|
| 流行始まり  |  |
| 流行中    |  |
| 流行終息傾向 |  |
| 終息     |  |

全数把握感染症報告数(令和6年8月分)

第32週～第35週(8月5日～9月1日)報告分

| 類型              | 疾患名                         | 広島市 |     | 全国    |        |
|-----------------|-----------------------------|-----|-----|-------|--------|
|                 |                             | 報告数 | 累積  | 報告数   | 累積     |
| 一類              | 1 エボラ出血熱                    | -   | -   | -     | -      |
|                 | 2 クリミア・コンゴ出血熱               | -   | -   | -     | -      |
|                 | 3 痘そう                       | -   | -   | -     | -      |
|                 | 4 南米出血熱                     | -   | -   | -     | -      |
|                 | 5 ベスト                       | -   | -   | -     | -      |
|                 | 6 マールブルグ病                   | -   | -   | -     | -      |
|                 | 7 ラッサ熱                      | -   | -   | -     | -      |
| 二類              | 8 急性灰白髄炎                    | -   | -   | -     | -      |
|                 | 9 結核                        | 8   | 77  | 1,138 | 10,161 |
|                 | 10 ジフテリア                    | -   | -   | -     | -      |
|                 | 11 重症急性呼吸器症候群               | -   | -   | -     | -      |
|                 | 12 中東呼吸器症候群                 | -   | -   | -     | -      |
|                 | 13 鳥インフルエンザ(H5N1)           | -   | -   | -     | -      |
|                 | 14 鳥インフルエンザ(H7N9)           | -   | -   | -     | -      |
| 三類              | 15 コレラ                      | -   | -   | -     | 2      |
|                 | 16 細菌性赤痢                    | -   | -   | 20    | 50     |
|                 | 17 腸管出血性大腸菌感染症              | 7   | 21  | 564   | 2,209  |
|                 | 18 腸チフス                     | -   | -   | 6     | 30     |
|                 | 19 パラチフス                    | -   | -   | -     | 4      |
|                 | 20 E型肝炎                     | 1   | 2   | 36    | 357    |
| 四類              | 21 ウエストナイル熱                 | -   | -   | -     | -      |
|                 | 22 A型肝炎                     | -   | 3   | 10    | 102    |
|                 | 23 エキノコックス症                 | -   | -   | -     | 6      |
|                 | 24 黄熱                       | -   | -   | -     | -      |
|                 | 25 オウム病                     | -   | -   | -     | 3      |
|                 | 26 オムスク出血熱                  | -   | -   | -     | -      |
|                 | 27 回帰熱                      | -   | -   | 2     | 10     |
|                 | 28 キャサヌル森林病                 | -   | -   | -     | -      |
|                 | 29 Q熱                       | -   | -   | -     | 6      |
|                 | 30 狂犬病                      | -   | -   | -     | -      |
|                 | 31 コクシジオイデス症                | -   | -   | -     | 1      |
|                 | 32 エムボックス                   | -   | -   | -     | 15     |
|                 | 33 ジカウイルス感染症                | -   | -   | -     | 1      |
|                 | 34 重症熱性血小板減少症候群             | -   | -   | 2     | 91     |
|                 | 35 腎症候性出血熱                  | -   | -   | -     | -      |
|                 | 36 西部ウマ脳炎                   | -   | -   | -     | -      |
|                 | 37 ダニ媒介脳炎                   | -   | -   | -     | 2      |
|                 | 38 炭疽                       | -   | -   | -     | -      |
|                 | 39 チクングニア熱                  | -   | -   | -     | 3      |
|                 | 40 つつが虫病                    | -   | -   | 3     | 105    |
|                 | 41 デング熱                     | 1   | 2   | 31    | 153    |
|                 | 42 東部ウマ脳炎                   | -   | -   | -     | -      |
|                 | 43 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。) | -   | -   | -     | -      |
|                 | 44 ニバウイルス感染症                | -   | -   | -     | -      |
|                 | 45 日本紅斑熱                    | -   | -   | 60    | 266    |
|                 | 46 日本脳炎                     | -   | -   | -     | 1      |
|                 | 47 ハンタウイルス肺症候群              | -   | -   | -     | -      |
|                 | 48 Bウイルス病                   | -   | -   | -     | -      |
|                 | 49 鼻疽                       | -   | -   | -     | -      |
|                 | 50 ブルセラ症                    | -   | -   | -     | 4      |
|                 | 51 ベネズエラウマ脳炎                | -   | -   | -     | -      |
|                 | 52 ヘンドラウイルス感染症              | -   | -   | -     | -      |
|                 | 53 発しんチフス                   | -   | -   | -     | -      |
|                 | 54 ポツリヌス症                   | -   | -   | 3     | 4      |
|                 | 55 マラリア                     | -   | -   | 4     | 32     |
|                 | 56 野兎病                      | -   | -   | -     | -      |
|                 | 57 ライム病                     | -   | -   | 4     | 22     |
|                 | 58 リッサウイルス感染症               | -   | -   | -     | -      |
|                 | 59 リフトバレー熱                  | -   | -   | -     | -      |
|                 | 60 類鼻疽                      | -   | -   | -     | 2      |
|                 | 61 レジオネラ症                   | 1   | 15  | 184   | 1,437  |
| 62 レプトスピラ症      | -                           | -   | 4   | 7     |        |
| 63 ロッキーマウンテン紅斑熱 | -                           | -   | -   | -     |        |
| 五類              | 64 アメーバ赤痢                   | -   | 2   | 36    | 362    |
|                 | 65 ウイルス性肝炎                  | -   | 1   | 12    | 144    |
|                 | 66 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症       | 1   | 5   | 209   | 1,378  |
|                 | 67 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)      | 1   | 1   | 5     | 29     |
|                 | 68 急性脳炎                     | -   | 6   | 47    | 373    |
|                 | 69 クリプトスポリジウム症              | -   | -   | 1     | 15     |
|                 | 70 クロイツフェルト・ヤコブ病            | -   | 2   | 7     | 101    |
|                 | 71 劇症型溶血性レンサ球菌感染症           | -   | 17  | 133   | 1,437  |
|                 | 72 後天性免疫不全症候群               | -   | 5   | 64    | 659    |
|                 | 73 ジアルジア症                   | -   | 2   | 2     | 27     |
|                 | 74 侵襲性インフルエンザ菌感染症           | -   | 2   | 43    | 449    |
|                 | 75 侵襲性髄膜炎菌感染症               | -   | -   | 2     | 38     |
|                 | 76 侵襲性肺炎球菌感染症               | -   | 7   | 117   | 1,733  |
|                 | 77 水痘(入院例に限る。)              | -   | 1   | 45    | 327    |
|                 | 78 先天性風しん症候群                | -   | -   | -     | -      |
|                 | 79 梅毒                       | 18  | 111 | 1,203 | 9,513  |
|                 | 80 播種性クリプトコックス症             | -   | 1   | 14    | 137    |
|                 | 81 破傷風                      | -   | -   | 8     | 55     |
|                 | 82 パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症      | -   | -   | -     | -      |
|                 | 83 パンコマイシン耐性腸球菌感染症          | -   | 6   | 13    | 89     |
|                 | 84 百日咳                      | 4   | 7   | 416   | 1,317  |
|                 | 85 風しん                      | -   | -   | 1     | 6      |
|                 | 86 麻しん                      | -   | -   | 2     | 28     |
|                 | 87 薬剤耐性アシネトバクター感染症          | -   | -   | 1     | 4      |